

一般社団法人 日本学校教育相談学会第36回総会・研究大会（愛知大会）第三次案内

大会テーマ

学校教育相談はどこへいくのか

－アフターコロナと生徒指導提要改訂－

新型コロナウイルス感染症が5類扱いとなり、一年がたちました。数年にわたる社会の混乱も出口が見えてきました。この期間は、マスクの着用や三密回避の奨励など、人と人との接触を避けざるをえない環境の中で、子どもたちの成長にとって欠かせない大切なものが多く失われた時間だったように思います。

おそらく、コロナ後の生活において人々が営む生活は、すべてが「元の場所に戻る」わけではないでしょう。失われたものは返らないし、また帰るべきでない場所もあります。学校教育相談が取り戻すべきもの、またこの機に手に入れなければならないものは何なのでしょう。

一方、令和4年12月に改訂された生徒指導提要には、これまで以上に学校教育相談の知見が反映されています。今や生徒指導の中核に位置づけられた学校教育相談にとって、大きな転機が来ていると考えられます。

我々が大切にしてきた学校教育相談は今後どこへ行くのか。何を大切にしつつ、何を変えていくべきなのか。全国の同じ志をもった皆様と議論できることを祈念し、ご案内申し上げます。

なお、本大会は第31回宮城大会以来の現地参集型の大会として開催します。たくさんの発表、自主シンポジウムなどのお申し込みをいただき感謝しています。皆様のご参加をお待ちしております。

一般社団法人 日本学校教育相談学会会長 春日井敏之
第36回総会・研究大会実行委員会委員長 松原 正明

- 主催 一般社団法人 日本学校教育相談学会
- 主管 日本学校教育相談学会愛知県支部
- 後援 文部科学省
愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、刈谷市教育委員会
名古屋学芸大学、名古屋外国語大学、公益財団法人 日本教育公務員弘済会愛知支部
- 期日 令和6年8月3日（土）・4日（日）
- 会場 刈谷市総合文化センター
〒448-0858 愛知県刈谷市若松町2-104 TEL:0566-21-7430
○JR東海道本線・名鉄三河線 刈谷駅 南口からウイングデッキ直結 徒歩3分

6 日程（予定）

○8月3日（土）

9:00 9:30 11:00 11:40 12:30 14:00 17:30

受付	開会行事 総会	文科省講演	記念講演	昼食	実践事例・研究発表(口頭・ポスター) 本部企画シンポジウム 自主シンポジウム
----	------------	-------	------	----	--

記念講演：講師 名古屋大学大学院教育発達科学研究科 中谷 素之 氏
演題 教室はなぜ「対面」か？

～学校だからできる、これからの学習指導・やる気支援のために～

○8月4日（日）

9:00 9:30 11:45

受付	学会賞記念講演 実践事例・研究発表(口頭) 現地企画シンポジウム 自主シンポジウム
----	---

※受付について：1日目の午前は大ホールロビー，1日目の午後と2日目は4F エレベーターホール前で受付をします。クロークはありませんが、1日目前半は大ホール内に置き場所を設けます。それ以降は各研修室にお持ちください。

7 実践事例・研究発表、自主シンポジウム、本部企画シンポジウム、現地企画シンポジウム(予定)

○8月3日(土) A:14:00~15:00 B:15:15~16:15 C:16:30~17:30

① 実践事例・研究発表(口頭)

No	発表主題・題目	発表者	時間
1	特別支援学級におけるアタッチメントの課題を抱える児童への支援	青木武史 片桐悠佳	A
2	自傷行為を行うA子の自己肯定感を高めた取組 —スクールカウンセラーと職員のチーム学校の支援を通して—	小林勉	A
3	高校生における摂食障害傾向と対人関係との関連	平松香織	A
4	MLA協同学習指導における要点 —共起ネットワークによる自由記述の分析—	栗原慎二 中林浩子 沖林洋平	A
5	不登校から教室復帰へのアプローチ —校内別室を利用した支援のあり方—	黒崎紀子	A
6	ASDの中学生三年間の記録 —不登校を経て自分の学びを見つけるまで—	春日一美	A
7	生徒の友人関係及び校内の人間関係がいじめの疑いと学級適応感に与える影響 —コロナ禍前に実施された「中学生の生活・意識・行動に関するアンケート」分析—	日野陽平 中村豊	A
8	担任とスクールカウンセラーの協働における効果と留意点の検討 —テキストマイニングを用いたインタビュー分析から—	浅野浩子	A
9	高ストレス下でも適応感をもって生きる姿勢を育成するために —高校生のハーディネスとソーシャルサポートに注目して—	加藤亜紗実	A
10	教員の協働性を高め、「チーム学校」を構築するためのアプローチ —ピア・サポート・プログラム導入に向けた自主教員研修を通して—	上野良	A
11	特別な指導を必要とする生徒に対するチーム支援システムの構築 —実態と課題を共有する会議を通じた連携協働促進と支援シート開発の試み—	内藤育美	B
12	教師視点の中1の課題に対応したピア・サポート・プログラムの実践	工藤吉猛	B
13	Grit(やり抜く力)に着目した粘り強く取り組む力の育成について	上田美穂	B
14	組織的な生徒理解と教員間の相互理解を促すケース会議の在り方 —県立高校への訪問型支援の実践事例を通して—	磯貝大輔	B
15	課題を抱える児童生徒への支援について —SELの理論を参考に—	森本晃介 井上晴香 坪井美咲 西垣伸悟	B
16	安心感を高める指導	島田宗明	C
17	効果的なチーム支援のためのアセスメント会議	米田成	C
18	キャリアコンサルタントが高校で活躍できるように補充すべきスキルについて	松下眞治	C
19	多様性を認め合うことができる生徒の育成	中沼暁	C
20	他者と協働することができる生徒の育成	若山裕也	C

② 学会本部企画シンポジウム

No	テーマ・メンバー	時間
☆	学校教育相談 ―今までとこれからを考える― 企画者：春日井敏之 司会者：中林浩子 話題提供者：春日井敏之 栗原慎二 梅川康治 藤原忠雄	BC

③ 自主シンポジウム

No	テーマ・メンバー	時間
1	不登校・不応児児童生徒に対する医療と学校との連携の在り方 企画者：原田浩司 司会者：松本直美 話題提供者：八木正樹 吉沢幸子 月井順一 指定討論者：原田浩司（筑波技術大学）	BC
2	学校の教育相談体制の充実をめざして ―教育相談コーディネーターの役割、教員に求められる教育相談の力― 企画者：金子恵美子 司会者：小笠原淳 話題提供者：住谷孝明 松井美雪 和久田耕平 指定討論者：西山久子（福岡教育大学）	BC
3	学校教育相談の継承のためにIV ―有機的なコミュニティ・スクールの構築とは― 企画・司会者：岩瀧大樹 話題提供者：田口節 渡邊美咲 上井勇一 指定討論者：青木美穂子（群馬医療福祉大学）	BC
4	学校で子どもたちの居場所をつくる 企画者：渡辺眞由美 司会者：新田智子 話題提供者：原裕子 渡辺眞由美 原田直美 指定討論者：山田修子（学校カウンセラー・スーパーアドバイザー）	BC

④ 実践事例・研究発表（ポスター）

No	発表主題・題目	発表者	時間
1	子どもを対象とするメンタルヘルス教育プログラムの開発と実施 1	米田薫 和久田耕平 斉藤麻依	A
2	プレイセラピーの方法を用いた教育相談の実践	吉澤寿一	A

○8月4日（日） D:9:30~10:30 E:10:45~11:45

① 実践事例・研究発表（口頭）

No	発表主題・題目	発表者	時間
21	養護教諭とスクールカウンセラーが連携・協働して進める教育相談について ―1年間の実践を通して効果と課題を考える―	大西淳子	D
22	強みを発揮して行動することができる児童の育成	堀部裕太	D
23	総合的な探究の時間における取組	吉田さおり	D
24	男子生徒の援助希求行動向上のために	原田まや子	D
25	校内支援体制の充実を目指して ―教育相談部3年目の取組―	高津麻井	D
26	「主体的・対話的で深い学び」の全教育課程へのアプローチ ―協同学習の教育的な仕掛けと開発的教育相談の活用―	渡辺正雄	E
27	高等学校における通級による指導の実際	布台真子	E
28	生徒の個別最適な学びを支える「面談」という手法の効果 ―教員と高校生の二者面談を通じた考察―	安曇健太	E
29	心のゆとり感の効果 ―「心のゆとり感」と精神的健康度との関係―	垣下成美	E

② 愛知県支部現地企画シンポジウム

No	テーマ・メンバー	時間
☆	不登校の近況と支援を考える 一生徒指導提要进行を踏まえて— 企画者：愛知県支部 司会者：長坂正文 話題提供者：吉田七重 松尾茂 山本祐子 石川健司 高橋昌久 指定討論者：五十嵐哲也（愛知教育大学）	DE

③ 自主シンポジウム

No	テーマ・メンバー	時間
5	グループカウンセリングを活用した学級の仲間づくり（4） 企画者：伊澤孝・松本直美 司会者：伊澤孝 話題提供者：松本直美 黒須瞳 齋川由香 斎藤悠雅 指定討論者：会沢信彦（文教大学）	DE
6	チーム学校で取り組む教育相談体制の中でスクールカウンセラーはどう活用できるか？ 企画・司会者：山崎茜 話題提供者：原範幸 米田成 山崎茜 指定討論者：中林浩子（下関市立大学）	DE
7	生徒指導提要在改訂された今、学校現場にとって必要な学校教育相談とは② 企画・司会者：木村正男 話題提供者：木村正男 金子恵美子 高田清美 藤坂雄一 指定討論者：藤原忠雄（神戸親和大学）	DE

④ 学会賞記念講演

No	発表主題・題目	発表者	時間
☆	子ども達の豊かな未来を拓く学校教育相談	米田薫	D

8 参加費のご案内

参加区分	研究大会参加費	
	一次申込み期間 5/20 正午～7/21 正午	二次申込み期間 7/22 正午～8/1 正午
会員	7000 円	8000 円（別途振込手数料）
非会員	8000 円	9000 円（別途振込手数料）
学生会員	2000 円	3000 円（別途振込手数料）
学生非会員	3000 円	4000 円（別途振込手数料）

※本大会では原則当日参加はございません。必ず事前にお申し込みください。

※参加申込みは、日本学校教育相談学会のホームページ(<http://jascg.info/>)で行っています。

※参加申込みに関する業務は、サポートデスクが対応します。

※発表者も参加申込みが必要です。

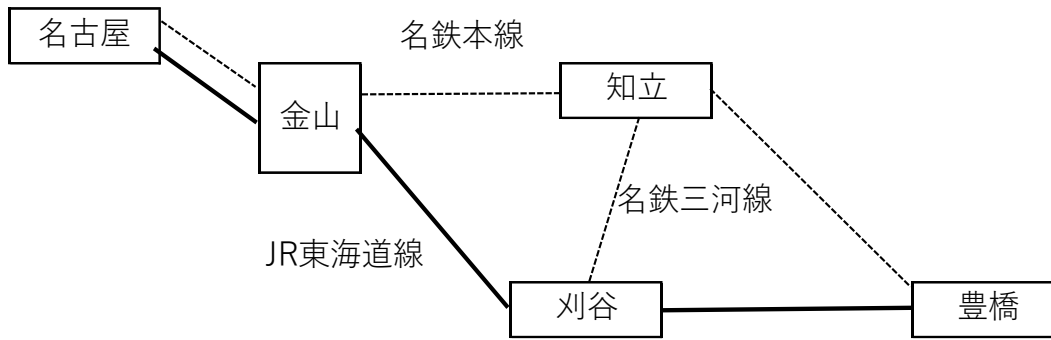
※領収書は振込受領証で代替します。別途領収書が必要な場合はサポートデスクに申請してください。

※一次申込は参加費が安く設定されており、振込手数料も不要です。ぜひお早めにお申し込みください。

9 その他

- ・本大会では、宿泊のあつせん、昼食の注文は行いません。下記の地図などを参考にして各自で御準備ください。
- ・例年、大会前日に実施されているワークショップは別日程になります。詳細については、本部より案内があります。
- ・研修証明書は、大会終了後アンケート（URL、QRコード利用）にお答えいただいた方に発行します。
- ・今後、大会に関する情報は、すべてホームページに掲載します。ご確認ください。

【会場のアクセス（路線図）】



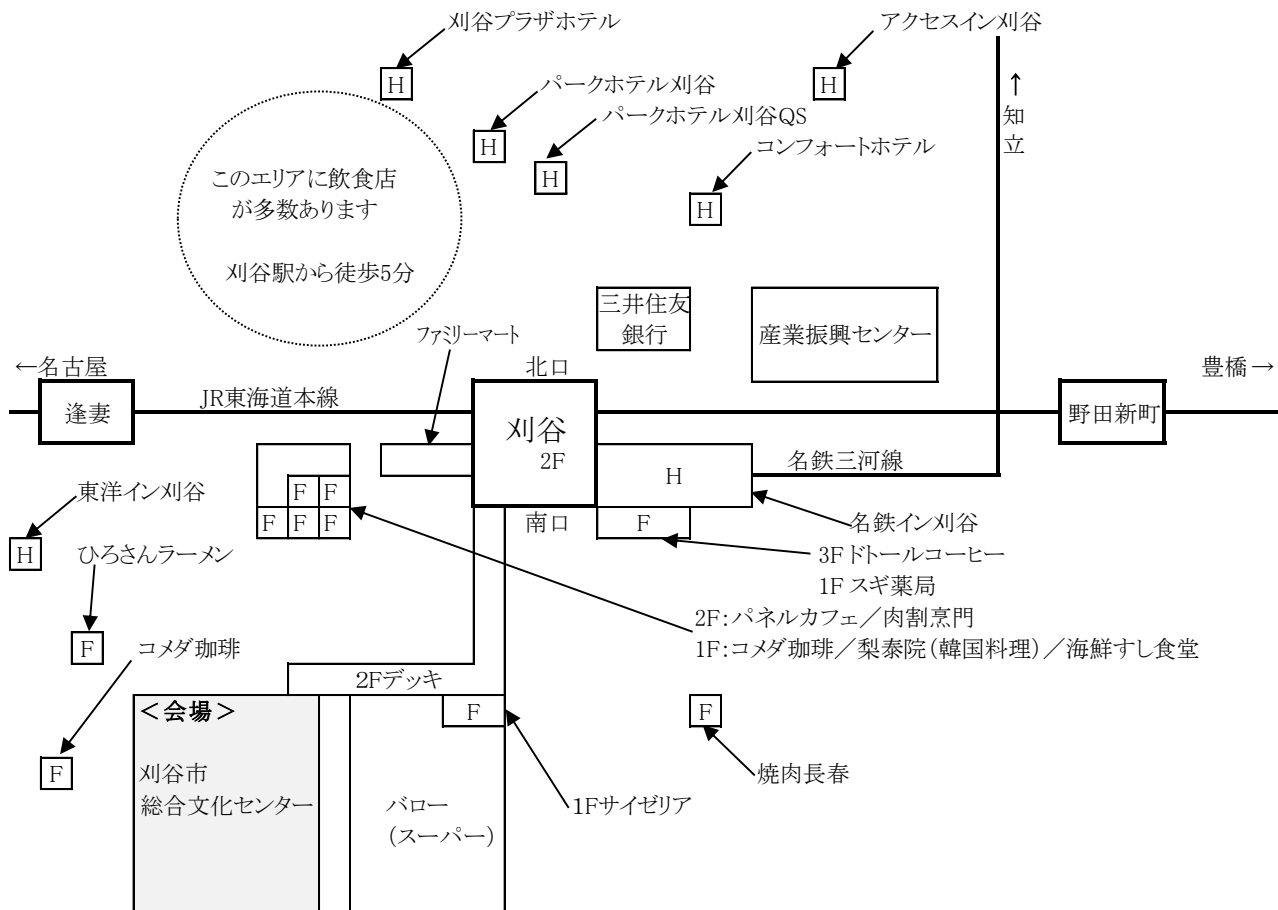
○JR ご利用の場合

- 「名古屋」駅より、JR 東海道線にて「金山」「豊橋」方面へ。「刈谷」駅で下車
 - 〈特別快速〉名古屋→金山→刈谷 (約 19 分)
 - 〈新快速〉名古屋→金山→大府→刈谷 (約 20 分)
 - 〈快速〉名古屋→金山→共和→大府→刈谷 (約 21 分)

○名鉄ご利用の場合

- 「名鉄名古屋」駅より、名鉄本線の特急にて「金山」「知立」「豊橋」方面へ。
- 「知立」駅にて三河線乗換。「刈谷」駅で下車 (約 40 分)
- ※いずれも「刈谷」駅より 2F デッキを通り直通 (徒歩 3 分) です。
- ※中部国際空港 (セントレア) からは名鉄 (金山で乗換) や刈谷駅直通バスがあります。

【会場周辺のホテル・飲食店】※付近のホテル (H)、付近の飲食店 (F) を示しました



【お問合せ先】

○研究発表・自主シンポジウム申込に関すること

第36回総会・研究大会（愛知大会）実行委員会事務局長 光川 秀成

（メールアドレス soudan.2024.aichi@gmail.com）

○参加申込みに関すること

サポートデスク

（メールアドレス jascg-conf@heibun.co.jp）

【一般社団法人日本学校教育相談学会ホームページ】

<http://jascg.info/>

